



# 取扱説明書

## CAFÈ RACER



### 【エスプレッソマシン取り扱い説明書について】

お買い上げ頂きましたエスプレッソマシンには、日本語訳取扱説明書を同梱させて頂いておりますが、エスプレッソ抽出に必要なご説明が主体となっております。恐れ入りますが、抽出に関係のない他の機能につきましては、併せて同梱しております英語版取扱説明書をご参照頂けます様お願い申し上げます。

# 1. 安全にご使用頂くために

注) 同梱の「安全上のご注意」をご参照ください。

※電源は専用回線を使用し、アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

この取扱説明書は、熟達したマシン使用者にお使い頂くためのものです。正常にマシンが動作し、長期間ご使用いただけるよう、ご使用前に本書及び同梱の「安全上のご注意」をよく読んでください。本書は製品の一部として、お手元に大切に保管ください。本機は、小児、何らかの理由で身体運動能力が制限されている人、またエスプレッソマシンの知識・経験のない人による使用は意図されておりません。ただし、熟達したコーヒーマシン使用者が責任を持って指導・監督する場合は、この限りではありません。

## 1.3 マーク

事故の多くは、操作やお手入れ中に 知識不足や安全規則を守らないために引き起こされます。事故防止ため、本書をよく読み本書及びマシンに貼付されているマークの意味を正しく理解し従ってください。本書で使用されているマークは以下の通りです。



・感電・ショートのおそれ



・やけどのおそれ



・一般の注意事項及びその他の情報



・故障のおそれ



技術者限定の作業・操作

## 1.5 火災時の緊急操作

- 火災が起きた場合は電源スイッチを OFF にして電源を切ってください。
- マシンに適した消火器で火を消してください。



**マシンの電源が ON のときは絶対に水で火を消さないでください。**

## 1.7 音圧レベル

本機は等価騒音レベルが 83 dB 以下/ 誤差 2.5 dB になるように設計されています。

## 1.8 振動

本機には振動抑制のゴム足がついています。通常の操作では使用者や環境に影響を及ぼすような振動は発生しません。

## 1.9 適切な使用

本機はエスプレッソコーヒー抽出及びホットドリンク（紅茶、カプチーノなど）を作るためのものです。本機使用は衛生・安全規準の知識のある熟練したマシン使用者に限ります。本機にはカップヒーターがついています。他の目的でのご使用は不適切で危険です。



不適切な使用によっておこった人や物への損傷に関しては、メーカーは一切の責任を負いません。

### 1.10 不適切な使用 下記のような使用は禁じられています：

- ・マシンを熟知していない人が使用する
- ・60/85ppn 以上の硬水の使用
- ・飲食に適さない液体や物の加熱
- ・抽出口を素手で触る
- ・コーヒー粉以外のものをフィルターホルダーに入れる
- ・液体が入った入れ物をカップヒーターに置く
- ・蒸気穴を布や他のものでふさぐ
- ・カップヒーターを布などで覆う
- ・マシンがぬれているときに使用する
- ・カップやマグ以外のものをカップヒーターに置く

## 2. 安全装置

### 2.1 安全マーク 絵記号の付いた警告マークが危険な個所すべてに貼付されています。



安全にご使用いただく為の警告マークがマシンに貼付してあります。ご使用の際は警告マークに十分注意してください。警告マーク（の指示）に従わずにおこった損害や怪我については、メーカーは一切の責任を負いかねます。

#### 危険：電源オン：



電気が流れているところすべてに貼付されています。  
マシンの電源が ON の時は触らないで下さい。

#### やけどの危険：



カップヒーターの上の部分に貼付されています。

### 2-2 安全対策 本機には2種類の安全装置がついています。

- ・機械の安全装置
- ・電気系統の安全装置

#### 機械の安全装置

- ・電気部品、ボイラーを覆っているパネル（完全にネジ止めされています）
- ・ドリフトレー
- ・ボイラーの安全弁
- ・抽出口の上部にある制御装置
- ・給排水の逆止弁

#### 電気系統の安全装置

- ・モーターの熱遮断機
- ・過熱を防ぐサーモスタット

### 2-4 その他の危険 その機能により保護できない危険個所

- ・コーヒー抽出ユニット
- ・スチームノズル
- ・熱湯ノズル



上記3か所すべてにやけどの危険があります。

### 2-5 危険な箇所

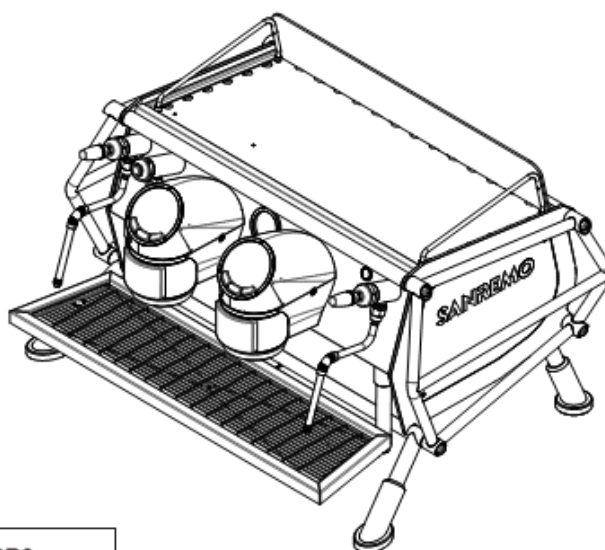
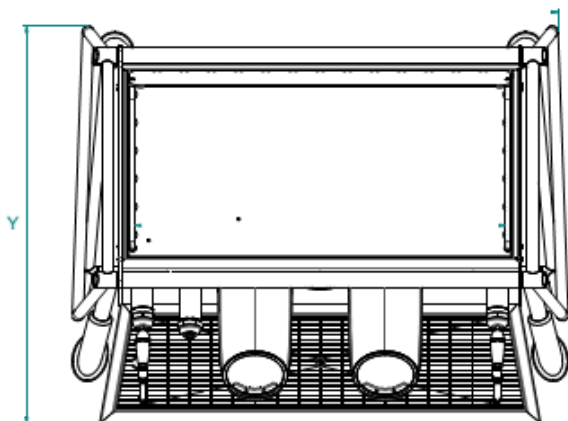
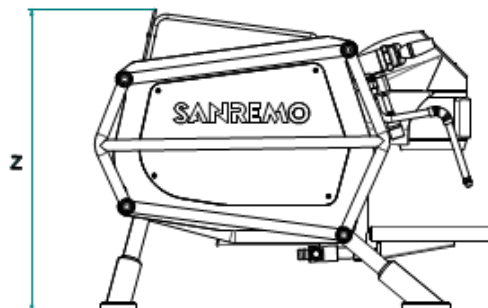
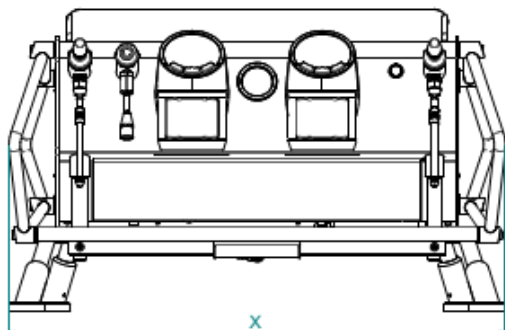


マシンの内部は全て危険箇所です。技術者が安全基準に従い修理など行います。マシン内部へのアクセスは、技術者のみに限ります。

### 3. 本機の特徴

- 2グループ又は3グループの業務用エスプレッソマシン
- PID搭載のマルチボイラー
- ボイラーへの自動給水
- マシン上部にカップウォーマー等の機能があります。

### 4. 技術仕様



	CR2	CR3
x	877	1057
y	702	702
z	534	534

グループ数		CR2	CR3
ボイラー容量	リットル	8	10
正味重量	Kg	97	120
総重量	Kg	148	171
電源電圧	V	220-240 1N～ 380-415 3N～	
ボイラーヒーター消費電力 (230V)	kW	3.85	
小ボイラーヒーター消費電力 (230V)	kW	0.5	
抽出グループヒーター消費電力 (230V)	kW	0.8	
カップウォーマー消費電力	kW	0.16	0.2
ポンプモーター消費電力	kW	0.2	
総消費電力	kW	7.03	8.35
小ボイラー最大圧力	Bar/Mpa	12 / 1.2	

ボイラー動作圧力	Bar/Mpa	0.8 ÷ 1.5 / 0.08 ÷ 0.15
水道圧力	Bar/Mpa	6 / 0.6
コーヒー抽出圧力	Bar/Mpa	8 ÷ 12 / 0.8 ÷ 1.2
操作時の外気温度	°C	5 ÷ 35

## 9 試運転

### 9.1 初めのご使用



重要：本機を初めて  
ご使用になる際は、  
必ず専門の公認技術  
者が行って下さい。

- マシンへの止水栓を開ける。
- ブレーカーを ON にする。
- スチームレバー(6)を動かして(上下左右のどの方向でも可)開ける。
- 電源 (ON/OFF) ボタン(1)を押す。マシンが ON になり、ディスプレイ(2と3)が点灯する。
- ボイラーへの自動給水が始まり、水位ディスプレイ(2)の水位目盛り「A」が点滅する。
- 「最高」水位になると、目盛り「A」が点滅から点灯にかわる。
- スチームノズル(5)からスチームが出始めたら、スチームレバー(6)を元の位置に戻して閉める。
- フィルターホルダーを装着せずに、抽出ボタンを押して抽出グループから湯(水)を数回出す。
- マシン回路(配管)の空気を放出すると同時に、湯(水)が適切に出るか確かめる。

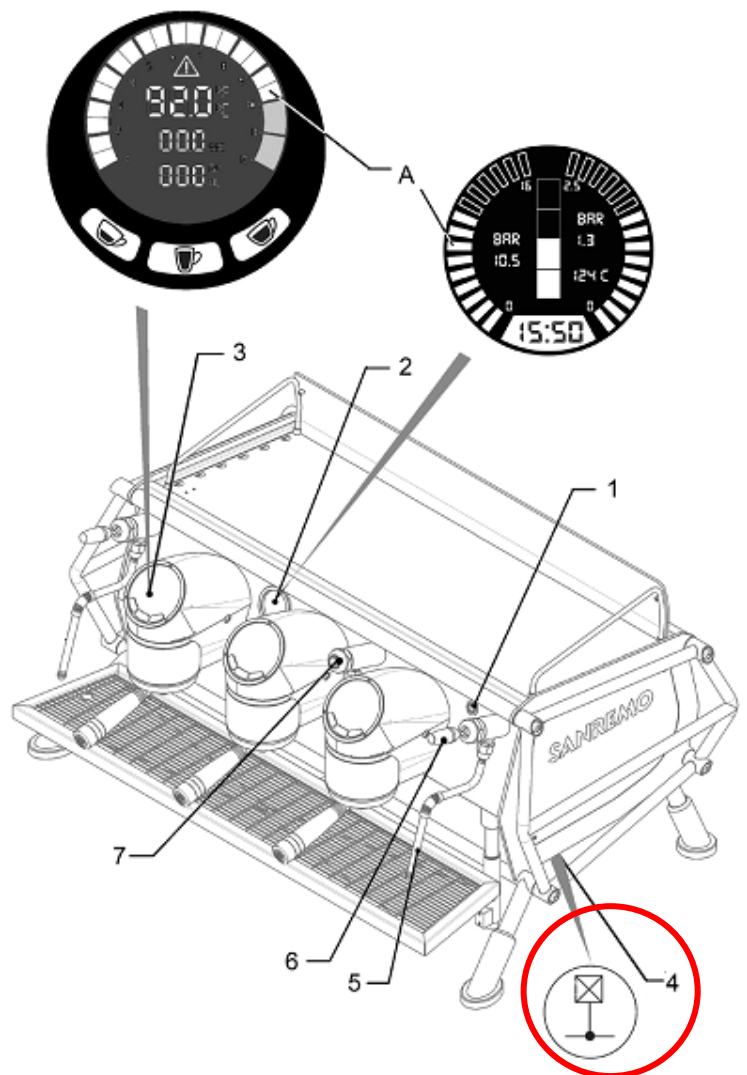


120 秒以内に自動給水が始まらないと、マシンは停止し、抽出ボタンのランプが点滅する。  
止水栓が開いているか確認する。  
マシンをオフにしてから再びオンにしてボイラーを満水にする。



**重要：**  
**(4) ボタンを押し、マシン配管内の  
空気を十分に放出する。**

- 熱湯ボタン(7)を押して熱湯を出し、マシン回路(配管)の空気を放出する。
- 抽出グループディスプレイ(3)で抽出設定温度(93°C)に、総合ディスプレイ(2)でスチーム設定温度(124°C)にそれぞれ達するまで待つ。  
ディスプレイ(2)でボイラー蒸気圧が約 1-1.2 bar (0.1-0.12 MPa) で、水道圧が 6 bar (0.6 MPa) を超えないか確認する。



- 熱湯の注出口(8)の下に取手付きピッチャーを置き、(7)の押ボタンを押して熱湯を出し、注出に問題がないか確認する。注出量を設定している場合は、設定量が注出されたら自動的に止まる。
- スチームノズル(5)を水の入ったピッチャーの中に入れる。スチームレバー(6)を動かして(上下左右のどの方向でも可)開け、水を温めてみる。  
反対側のスチームも同様に確認する。
- フィルターホルダー(9)を抽出グループに装着し、カップを下に置き、3つの抽出ボタン(10)をそれぞれ押して抽出する。設定量が出ているか確認する。



**重要:**下記の最大量(限界値)を推奨します。  
 ・各グループのコーヒー連続抽出量は100cc  
 ・熱湯の連続注出は500cc  
 ・スチームの連続放出は30秒

抽出後、ディスプレイのポンプ圧が約9 bar か確認する。



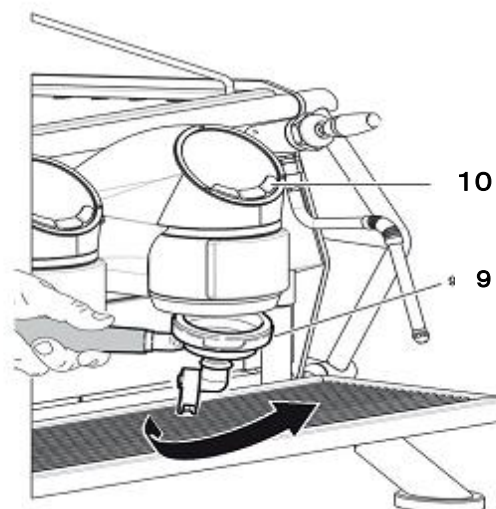
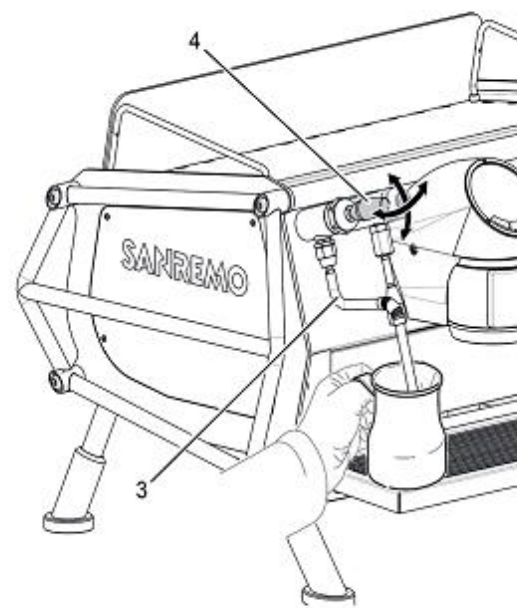
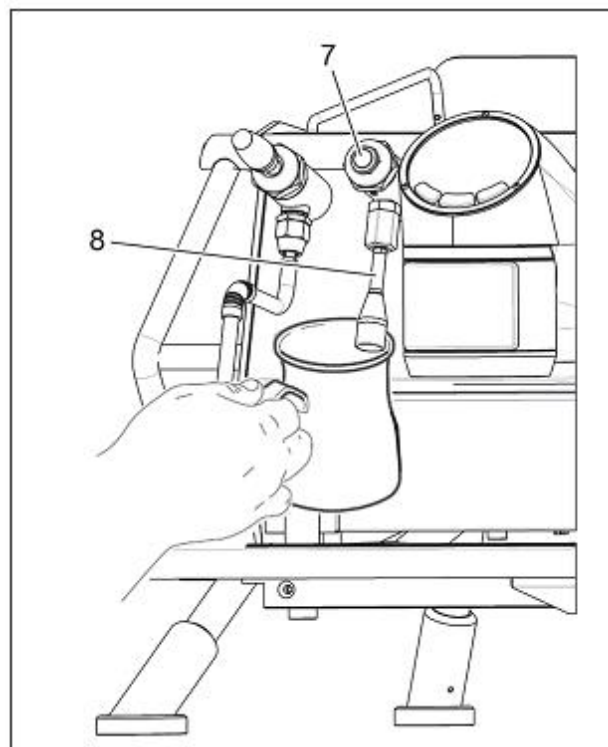
**重要:**抽出中のポンプ圧が8-9 bar (0.8-0.9 MPa) か確認する。  
 ポンプ圧がこの範囲でない時は、調整する必要があります。(調整が必要な場合は、専門技術者にお問い合わせください。)



**抽出圧の調節**は、マシン底の左端にあるポンプのツマミで行う。下からマシン底をみて、ツマミを押して時計方向に回すと抽出圧が上がり、反時計方向に回すと抽出圧が下がる。(上からマシンをみて調節すると、時計回りで抽出圧が下がり、反時計回りで抽出圧が上がる。)

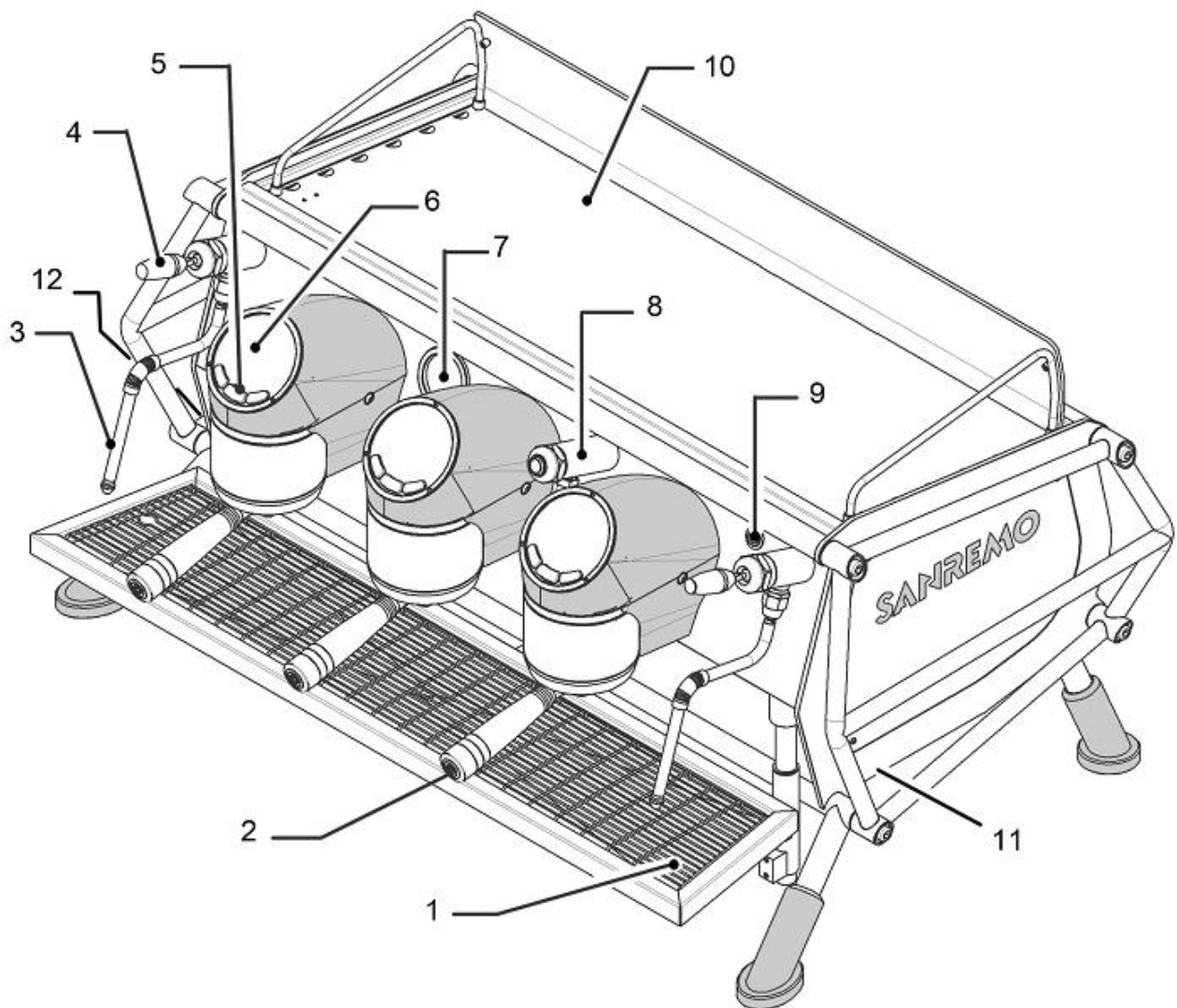


- 電源 (ON/OFF) ボタン(1)を押してマシンの電源を切る。止水栓を閉じる。



## 11 マシンの操作

### 11.1 各部名称



1. トレー

2. フィルターホルダー

3. スチーム パイプ

4. スチーム レバー (ノブ)

5. 押ボタン パネル

6. グループ ディスプレー

7. ディスプレー

8. 熱湯注出 (熱湯ボタン)

9. 電源 ON/OFF スイッチ

10. カップ ウォーマー

11. 「空気抜き Purge」ボタン

12. ライト ボタン

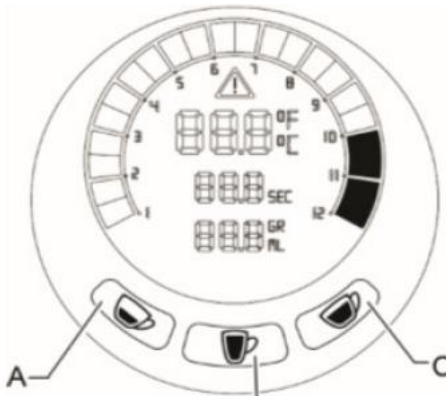
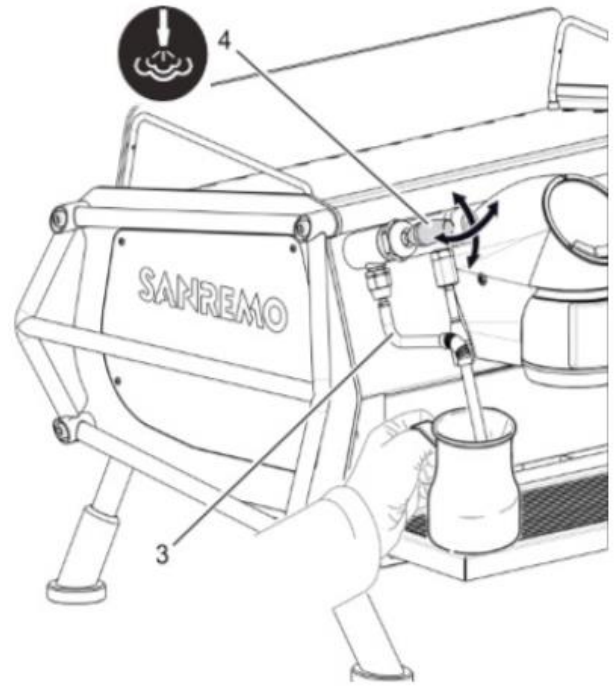


## 11.2 - 機能の説明

- スチーム レバー (ノブ) (4)

ノブ (4) を動かす (どの方向でもよい) と、ノズル (3) からスチームが出る。スチームを止めるには、ノブを真ん中の元の位置に戻す。

- 押ボタンパネル (5)



コーヒーボタン  
1 押—シングル、2 押—ダブル

エスプレッソボタン  
1 押—シングル、2 押—ダブル



(A) エスプレッソボタン

1 回押し—シングル抽出：シングルフィルターホルダーの下にカップを置き、**A ボタン**を 1 回押す。抽出中は **A ボタン**のみ点灯し、抽出後は押ボタンパネルの全ボタンが点灯する。

2 回押し—ダブル抽出：ダブルフィルターホルダーの下にカップ(2つ)を置き、**A ボタン**を 2 回押す。抽出中は **A ボタン**のみ点滅し、他ボタンは消灯。抽出後は押ボタンパネルの全ボタンが点灯する。



(B) 連続抽出ボタン

フィルターホルダーの下にカップを置き、**B ボタン**を押す。抽出中は(B)ボタンのみ点灯し、他ボタンは消灯。お好みの抽出量になったら、再び **B ボタン**を押して抽出を止める。(1500 ccで自動的に止まる) 抽出後は押ボタンパネルの全ボタンが点灯する。



(C) コーヒーボタン

1 回押し—シングル抽出：シングルフィルターホルダーの下にカップを置き、**C ボタン**を 1 回押す。抽出中は **C ボタン**のみ点灯し、抽出後は押ボタンパネルの全ボタンが点灯する。

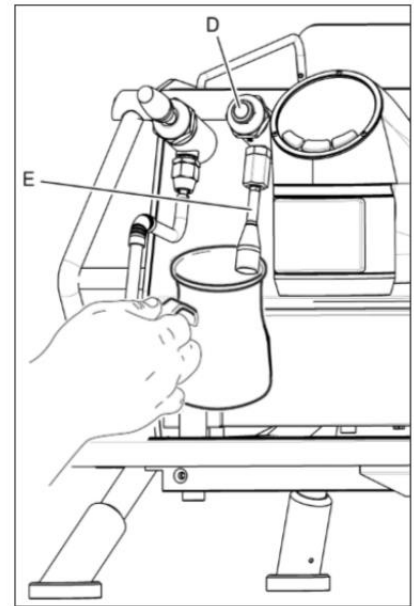
2 回押し—ダブル抽出：ダブルフィルターホルダーの下にカップ(2つ)を置き、**C ボタン**を 2 回押す。抽出中は **C ボタン**のみ点滅し、他ボタンは消灯。抽出後は押ボタンパネルの全ボタンが点灯する。

- 熱湯注出 (8)

熱湯口の下にカップを置く。

(D)ボタンを押すと、熱湯口(E)から設定温度に調整された熱湯が出る。

熱湯は、設定時間(秒)で自動的に止まる。または、(D)ボタンを再び押しても止まる。

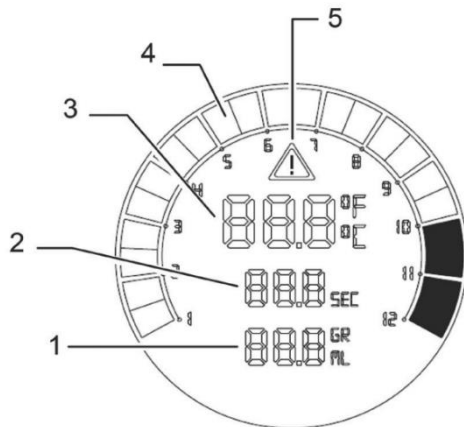


### 11.3 ディスプレー

通常の時操作時は下の画面が表示されます。

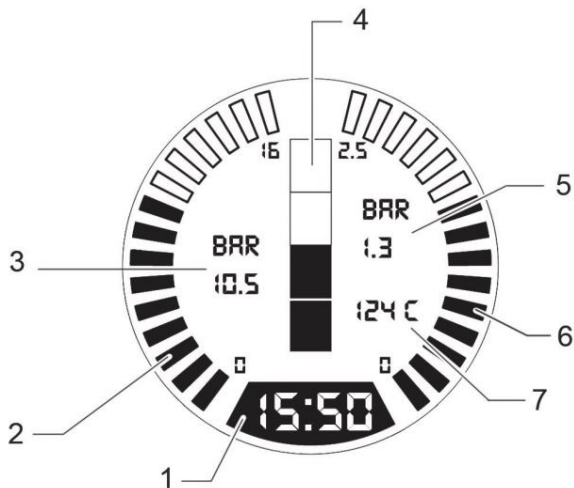
設定時の画面については、各項目をご参照ください。

- グループ ディスプレー (6)



1. 各抽出で設定された注水量(ml)
2. コーヒー抽出時間(秒)
3. 当グループの抽出温度
4. ポンプ圧力計
5. 警報—誤作動・故障

- 総合ディスプレイ (7)



1. 時計
2. ポンプ圧力計
3. ポンプ圧
4. スチームボイラー水位
5. スチームボイラー蒸気圧
6. スチームボイラー蒸気圧力計
7. スチームボイラー温度

## 12. 設定

### 12.1 抽出の設定

各グループの A,B,C ボタンを使って抽出の設定ができます。コーヒーの抽出量は、左端の抽出グループの設定が自動的に他グループの設定になりますが、同様の手順で個別に設定することもできます。

#### コーヒー抽出量の設定

**A ボタン**：エスプレッソ 1回押し—シングル、2回押し—ダブル

**B ボタン**：連続抽出

**C ボタン**：ロングコーヒー 1回押し—シングル、2回押し—ダブル

次の手順で抽出量を設定する：

- ・ マシンの電源を入れる。(別項参照)
- ・ コーヒー粉の入ったフィルターホルダーを左端グループに装着する。(「マシンの操作」を参照)
- ・ 抽出口の下にカップ(1つか2つ)を置く。
- ・ 設定モードに切替える：B ボタンを点滅するまで5秒以上押し。  
ディスプレイに右の画面が点滅表示される
- ・ 30秒以内に設定したいボタンを押す。

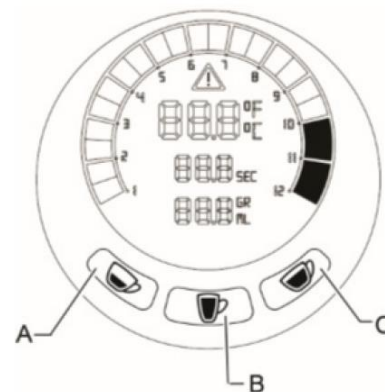
例：**A ボタン**(エスプレッソ)、**C ボタン**(ロングコーヒー)の1回押しはシングル。

抽出中、**A ボタン** (または**C ボタン**) と**B ボタン**が点灯する。

例：**A ボタン**(エスプレッソ)、**C ボタン**(ロングコーヒー)の2回押しはダブル。

抽出中、**A ボタン** (または**C ボタン**) と**B ボタン**が点滅する。

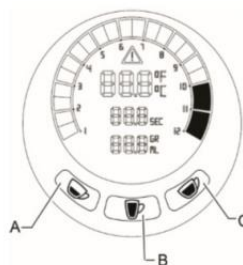
- ・ お好みの量が抽出されたら、再び当ボタンを押して抽出を止める。抽出量は保存される。
- ・ 他ボタンも同様に設定できる。設定モードは30秒後に自動的に解除される。
- ・ 抽出後は押ボタンパネルの全ボタンが点灯する



**抽出量の設定**  
PROGRAMMING DOSES  
SELECT IN 30 SEC  
**30秒以内に選択**

#### 熱湯注出量(紅茶用)の設定

- ・ 設定モードに切替える：B ボタンを点滅するまで5秒以上押しして設定モードにする。
- ・ 熱湯ボタン(D)を押して熱湯を出し、お好みの量になったら再び熱湯ボタン(D)を押して熱湯を止める。熱湯量は保存される。
- ・ 設定モードは30秒後に自動的に解除される。

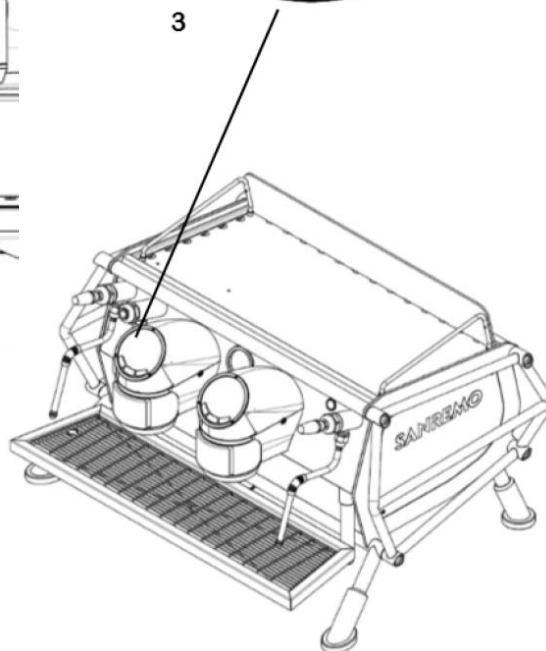
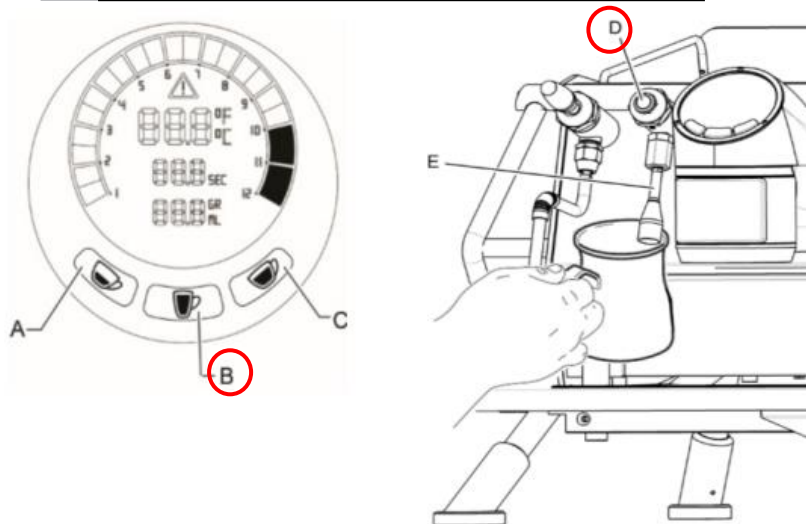


## 12.2 各機能の設定 (コーヒー抽出温度、カップウォーマーの温度と入/切、前蒸らし、抽出量)

ディスプレイ(3)で各機能の調整ができます。



**重要:** 左端のボタンパネルでのみカップウォーマーの設定が可能です。



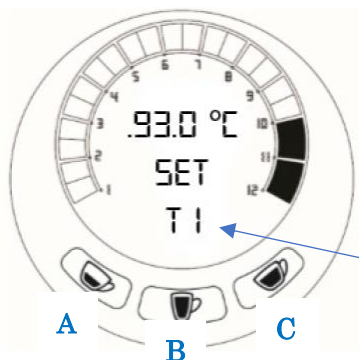
機能設定モードに切替える : 左端グループの **B ボタン**(連続抽出ボタン)を押しながら**熱湯ボタン(D)**を押す。

**B ボタン**を押して、次の機能設定へ。

- \* コーヒー抽出温度 →
- \* カップウォーマーの温度と入/切 →
- \* 前蒸らし →
- \* 抽出量 →
- \* 元の画面

同じ手順で、各グループの機能設定を個別に行える。

### 12.2.a コーヒー抽出温度の設定



左の画面が表示されます :

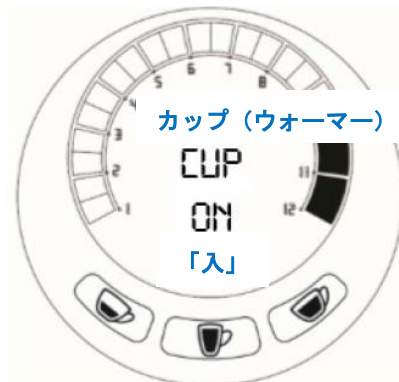
**A ボタン**(-減少)/**C ボタン**(+増加)で抽出温度を設定し、**B ボタン**を押して確定保存し、次の機能設定へ。

T1: (抽出)温度 1 グループ、T2:温度 2 グループ、T3:温度 3 グループ

### 12.2.b カップウォーマーの入/切 (ON/OFF) と温度の設定

**A ボタン**(-)/**C ボタン**(+)で ON (入) / OFF (切)を設定する。

ON (入)の設定をする場合は **B ボタン**を押して確定保存し、次の画面が表示される。





カップウォーマーの温度

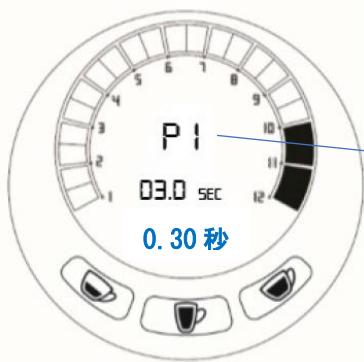
A ボタン(-減少)/C ボタン(+増加)で温度を設定し、  
B ボタンを押して確定保存し、次の機能設定へ。

### 12.2.c 前蒸らしの設定

右の画面が表示されます：

A ボタン(-)/C ボタン(+)で ON (入) / OFF (切) を選択する。

ON (入) の設定をする場合は B ボタンを押して確定保存し、  
次の画面が表示される。



A ボタン(-)/C ボタン(+)で前蒸らしの時間 (秒 SEC) を調整する。

B ボタンを押して確定保存し、他の前蒸らし時間 (秒) も設定する。

P1	前蒸らし1	シングル エスプレッソ
P2	前蒸らし2	シングル ロングコーヒー
P3	前蒸らし3	ダブル エスプレッソ
P4	前蒸らし4	ダブル ロングコーヒー

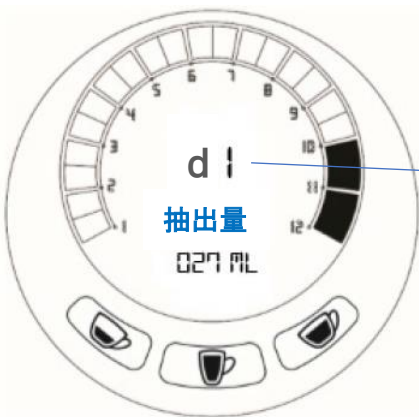
B ボタンを押して確定保存し、次の機能設定へ。

### 12.2.d 抽出量の設定

右の画面が表示されます：

A ボタン(-減少)/C ボタン(+増加)で抽出量を設定し、

B ボタンを押して確定保存し、続けて他の抽出量も設定する。



d1	抽出量1	シングル エスプレッソ
d2	抽出量2	シングル ロングコーヒー
d3	抽出量3	ダブル エスプレッソ
d4	抽出量4	ダブル ロングコーヒー
dc	抽出量c	連続抽出

B ボタンを押して確定保存し、次の機能設定へ。

## 12.3 総合ディスプレイで機能の設定

- \* 時刻、自動 ON/OFF 時刻、曜日、
- \* カウンター(杯数・リットル数など)、
- \* グループの清掃

ディスプレイ(2)で設定、確認ができます。

設定メニューへ切替える：

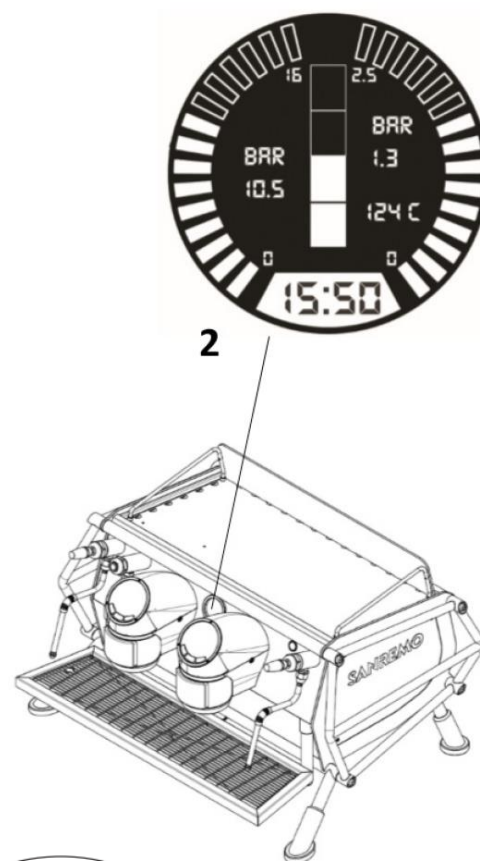
左端グループの **B ボタン** を約 10 秒間 押し続ける。

(注) 押して 5 秒後に他の設定になるが、そのまま押し続ける。

下の画面がディスプレイに表示される：



- ・時刻を調整する場合は、  
第 2 グループの A ボタン を押す。
- ・次の機能 (の設定) へ移る場合は  
左端 (第 1) グループの B ボタン を押す。



時刻を調整する： 右の画面が表示され、調整できる部分が点滅する。

**A ボタン**(-減少) / **C ボタン**(+増加) で設定し、**B ボタン** を押して確定保存し、次の機能設定へ。



自動 ON 時刻の設定へ：

下の画面が表示される。



**A ボタン**(-減少) / **C ボタン**(+増加) で設定し、**B ボタン** を押して確定保存し、次の機能設定へ。

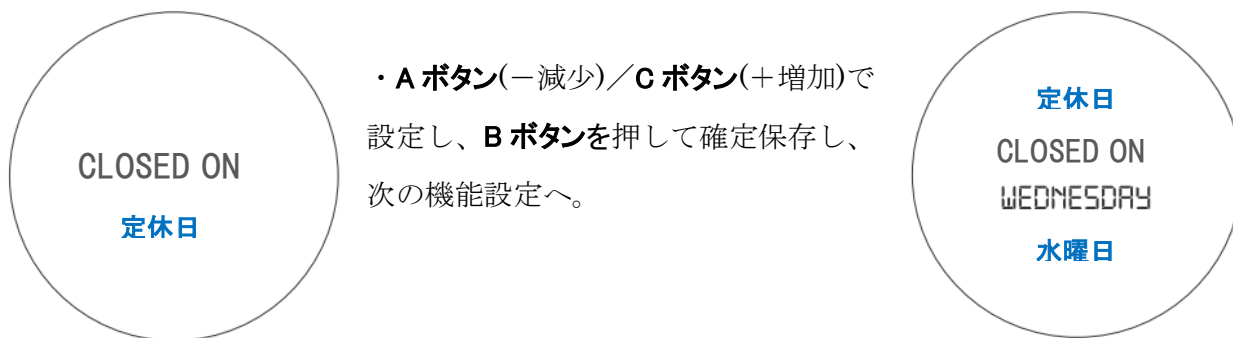
### 重要:

「自動 ON 時刻」が設定されると、自動的に設定された時間にマシンの電源が入り、操作する人が到着する時にはコーヒーを抽出できる状態になっています。

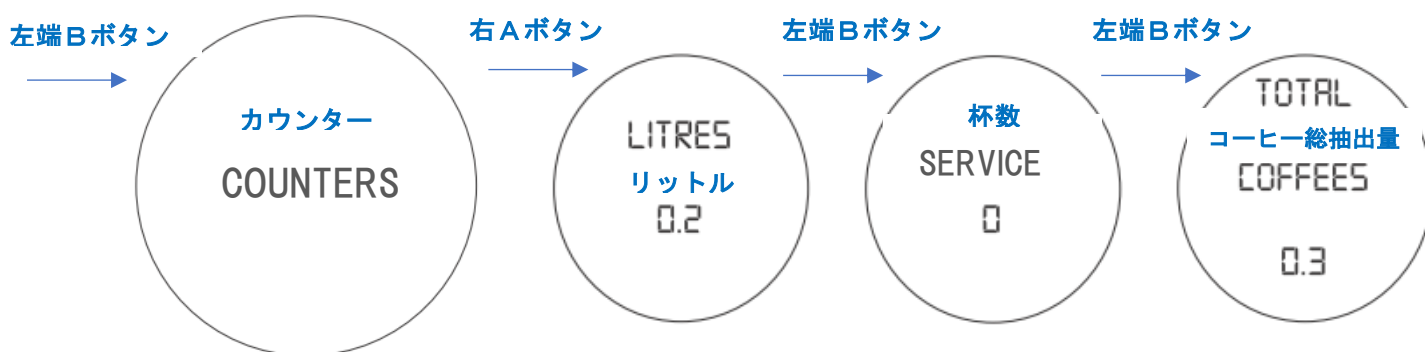
「自動 ON」機能を無効にするには、設定時刻を「—:—」にします。

マシンの電源を切るには、グループディスプレイで切るか、「自動 OFF」機能を使って電源を切ります。(14章「マシン電源の入/切」をご参照ください。)

定休日の設定： 休日にはマシンの電源が自動的に入らないようにする。



下の画面が表示される。右(第2)グループのAボタンを押してサブメニュー「リットル」へ。  
左端(第1)グループのBボタンを押して、次の数値にアクセスし、次の機能設定へ。



全グループの同時自動洗浄の選択：



**重要：** 清掃を行う前に、必ず「グループの自動洗浄」に従ってマシンの準備をしておくこと。

Aボタン/Cボタンを使って、  
YES(はい)/NO(いいえ)を選択する。

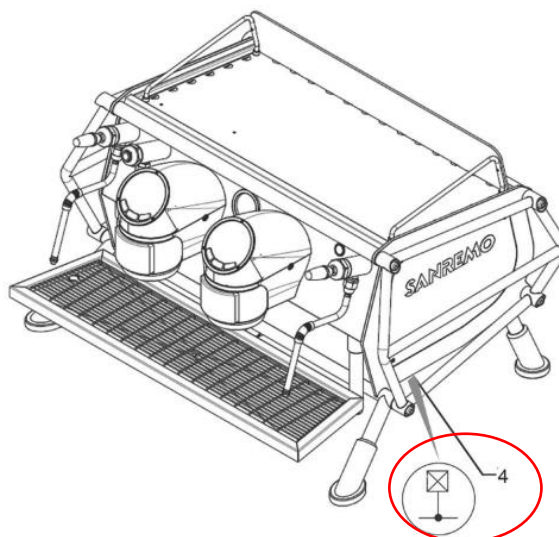
\* 「19. 清掃」「19.2.b 全グループの自動洗浄」をご参照下さい。

## 12.4 設定モードの解除

Bボタンを押して設定モードを解除し元の画面に戻る。

## 12.5 コーヒー回路の空気抜き

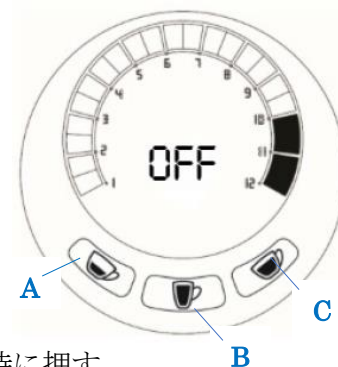
\* マシン立ち上げ時、数時間未使用時には必ず空気抜きボタン(4)を5秒ほど押してコーヒー回路中の空気を抜く。また、週に1回はボタン(4)を30秒以上押して、回路中の空気を抜くと抽出量を一定に保つことができる。



## 13 グループ電源の入/切 (ON/OFF)

一つ以上のグループの入切ができる。

グループの電源を切る：そのグループの **B ボタン** と **C ボタン** を同時に押す。右の画面が表示される。



**重要：** 左端グループの電源を切ると、自動的に全グループの電源も切れます。**C ボタン** が点滅する。

再びグループの電源を入れる：そのグループの **B ボタン** と **C ボタン** を同時に押す。

## 14 マシン電源の入/切 (ON/OFF)



**重要：** カルキや電力消費を抑えるために、マシンの電源を切る時は 8 時間以上マシンを使わない場合に限定することを推奨します



**重要：** マシンの電源を切る前に、必ず「19 清掃」に従ってマシンの清掃をしてください。

- ・自動 ON 機能が有効の状態ではマシンの電源を切る：  
左端グループの **B ボタン** と **C ボタン** を同時に押し、マシンの主電源は ON のままにしておく。  
-- 上記の状態では、自動 ON 時刻前にマシンを起動する時は、左端グループの **C ボタン** を押す。
- ・自動 ON 機能が無効の状態ではマシンの電源を切る：  
マシンの主電源を OFF の位置にする。マシンのブレーカーをオフにし、止水栓を止める。

## 15 アラーム(警告)

### 抽出グループから熱湯が出ない

- ・抽出グループから熱湯が出ない時は、選択した押ボタンが点滅する。

### 待機状態 (ディスプレイ消灯)

- ・マシンが間違えて待機状態になったらディスプレイが消灯し左端グループの **C ボタン** が点滅する。
- ・待機状態を解除するには、**C ボタン** を押す。すると再び電源が入る。

### ボイラーへの給水警告

- ・ボイラーの給水を始めて 120 秒後に異常が検知された場合、アラームが作動し、総合ディスプレイ(2)のボイラー水位計が点滅する。
- ・アラームをリセットするには、給水回路をチェックする。給水できるようになれば自動的にアラームはリセットされる。

## 19 清掃

### 19.2 毎日のメンテナンス

#### 19.2.a グループの自動洗浄

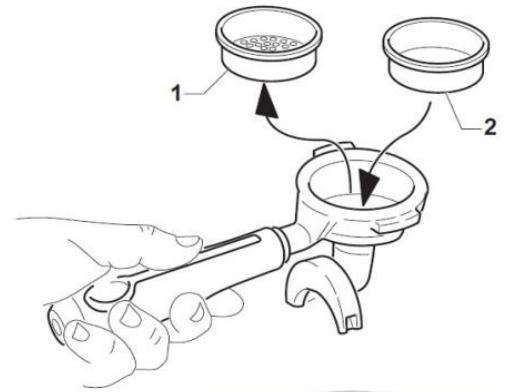


**重要：** グループの自動洗浄は、マシンの電源が入った状態で行ってください。

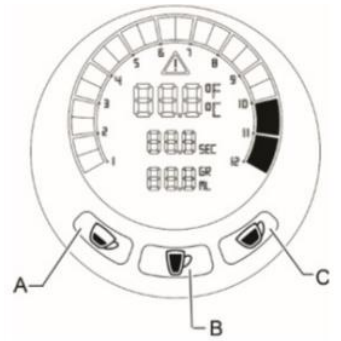
- ・フィルターホルダーを取り外し、中身を空にする。



- ・フィルター(1)を取り外し、ブラインドフィルター(2)をはめ込み、中にコーヒーマシン専用の洗浄剤を適量入れる。洗浄するグループにフィルターホルダーを装着する。
- ・当グループの **A ボタン** と **B ボタン** を同時に押す。自動洗浄サイクルが作動し、**A ボタン** と **B ボタン** が点滅する。(7 秒/5 回)洗浄が終了すると、**A ボタン** と **B ボタン** が消灯し元の画面に戻る。

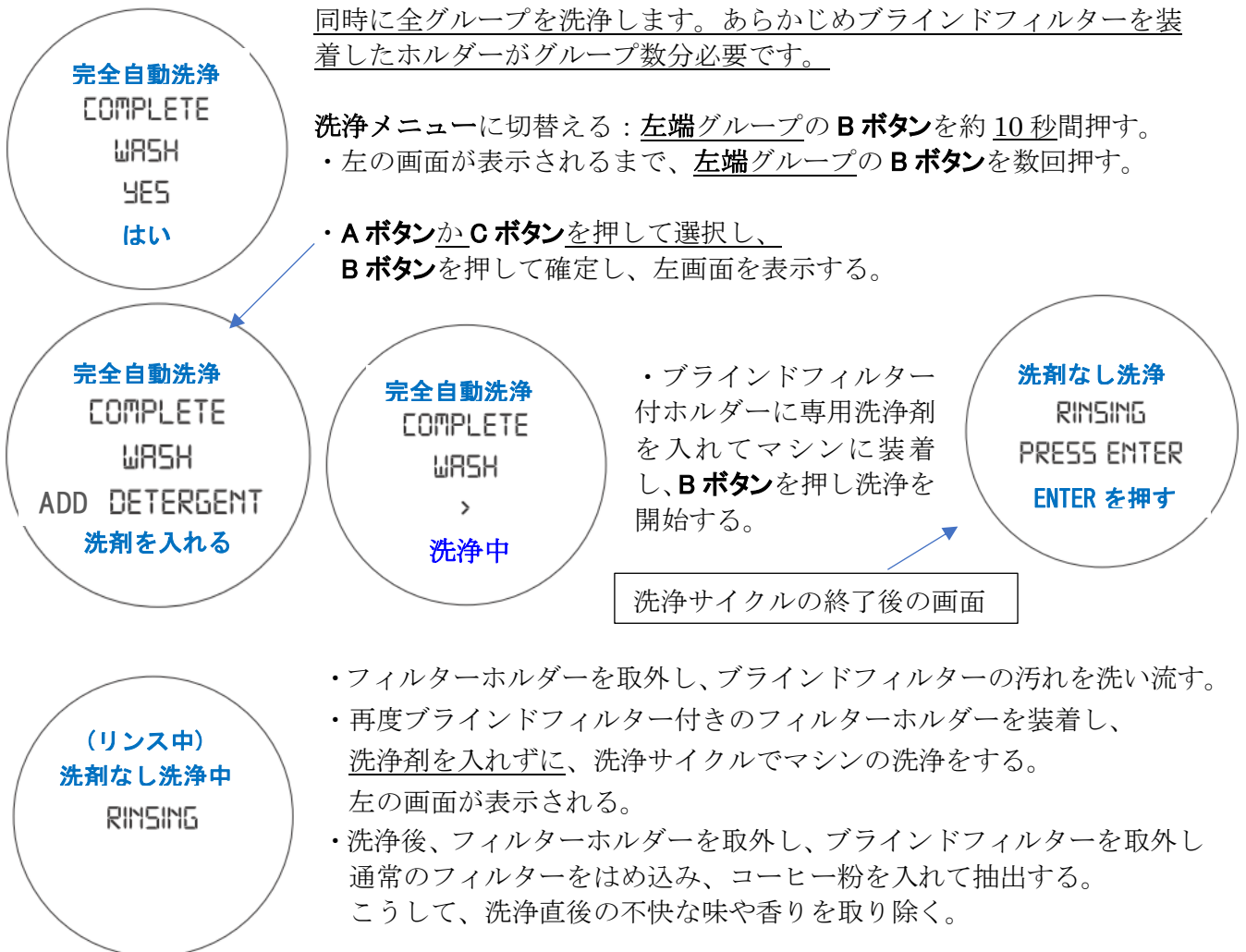


- ・フィルターホルダーを取り外し、ブラインドフィルターの汚れを洗い流す。
- ・再びブラインドフィルター付フィルターホルダーを装着し、洗浄剤を入れずに洗浄サイクルでグループの洗浄をする。  
\* 洗剤が気になる場合はもう 1 回洗浄サイクル(洗浄剤なし)を行う。\*
- ・洗浄後、フィルターホルダーを取外し、ブラインドフィルターを取り外して通常のフィルターをはめ込み、コーヒー粉を入れて抽出する。こうして、洗浄直後の不快な味や香りを取り除く。



**重要:** グループの洗浄は必ずマシンの全グループに行ってください。

### 19.2.b 全グループの自動洗浄



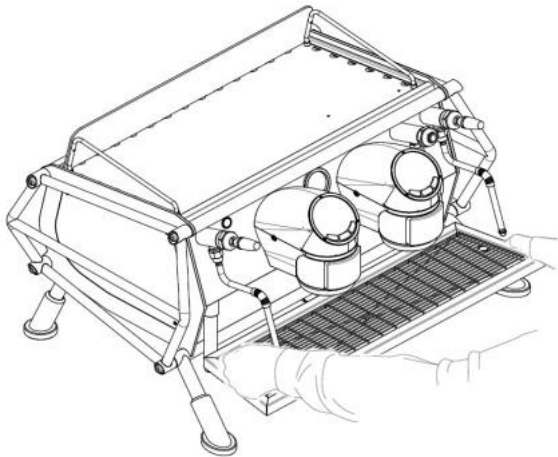
## 19.2.c 毎日の清掃



**重要：** グループの自動洗浄には、決して腐食性または研磨剤入り洗剤を使わないでください。コーヒーマシン専用の洗浄剤をご使用ください。マシンの清掃に決してウォータージェットを使わないでください。

次の手順に従って清掃します。

- フィルターホルダーを取り外し、空にする。
- フィルターを取り外し、フィルターとホルダーをコーヒーマシン専用洗剤の入った容器に浸ける。
- 排水トレイの網を取り外し、専用洗剤できれいに洗い、柔らかい布でしっかり拭き、元の場所に戻す。



スチーム管にミルクの膜などが付着していたら、専用洗剤できれいにします。

グループの底とガスケットを専用ブラシできれいにします。

湿らせた布でマシンの周りを拭く。

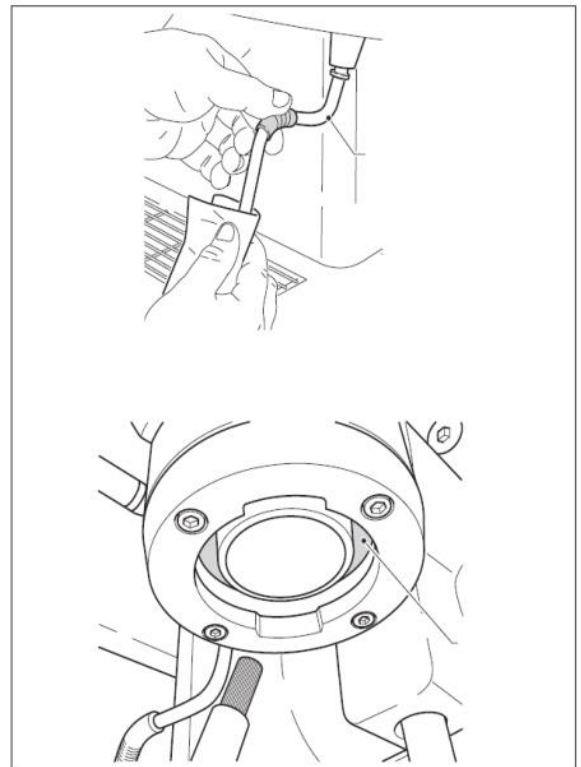
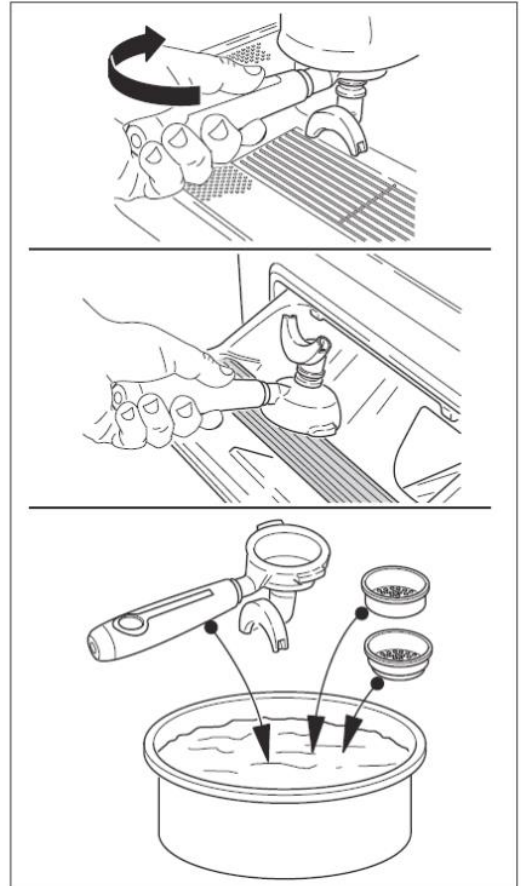


## 19.3 定期保守(技術者用)

マシンが適切に動作するように全操作を定期的にメンテナンスする必要があります。



**重要：** 定期保守は専門技術者が行ってください。マシンの不良や故障に対して修理を保証する保険に入ることを推奨します。



お困りの際には、下記までご連絡ください。

**お問い合わせ先:**

大一電化社 修理工房 営業時間: 平日 10:00~17:00  
定休日: 土曜日/日曜日/祝日

Tel : 0743-63-7803  
Fax : 0743-63-1116

修理工房 : [repair\\_info@daiichico.com](mailto:repair_info@daiichico.com) (故障かな?と思ったら)  
大一電化社 : [info@daiichico.com](mailto:info@daiichico.com) (使いかたでお困りの場合)  
ホームページ : <http://www.daiichi-mottainai.com/>